

静岡県近代史研究会

会報

10月
2025年10日
月刊第565号

<総会記念講演会レジュメ>

「ジェンダー史の魅力」－静岡県近代史研究会との 出会いとその後の占領期研究

平井和子

この夏は「戦後80」年ということで、わたしのような歴史学の片隅で「性暴力」というニッチなテーマをやってきた者にも歴史雑誌だけではなく、新聞をはじめさまざまな媒体から執筆、取材が怒涛のように押し寄せてきた。個人的な感覚ではあるが、2025年は「終戦」に伴う国民的受難の記憶をトレースするこれまでの「八月ジャーナリズム」とは異なる新たなフェーズに入ったように思える。もちろん、戦争の直接体験者が退場するなかで、「継承」が喫緊のテーマとなっているが、同時に戦後の始まり方－女性の性を犠牲にした－へ若い研究者やジャーナリストたちが向き合おうとする潮流のようなものが出来つつある、と¹。

国内外ではフェイク情報に飛びつき、自分の聞きたいことだけ聞く人々が増える一方で、史実に基づき、複雑で「不都合な歴史」にも向き合おうとする人々も確実に存在する。そのせめぎ合いの時代に歴史学、とりわけジェンダー史が貢献できる「知」とは何かを、これまで自分がやってきたささやかな実践を通して、皆さんと考えたい。

1. 女性史からジェンダー史へ（静岡県近代史研究会のなかで）

- ① 1981年、西伊豆へ（最初にやったこと－車の免許を取る）→82年から「子連れ聞き取り」→83年ころ静岡女性史研究会（代表・小和田美智子さん）入会。
- ② 1984年、毎日新聞郷土提言賞受賞（「地域女性史の聞き取り」－選考委員に静岡大学の和田守氏）→85年『西伊豆・土肥の女たち』（長倉書店、海野福寿氏による資料提供）→静岡県近代史研究会入会。メンバー間の性差別にまつわる認識へのモヤモヤしたエピソード（当時、言語化できなかった「性別役割分担と性差別」の関係性²）
- ③ 女性史のメインストリームへの違和感
1986年、第4回「全国女性史研究交流のつどい・愛媛」－「ここに生き住み 働き 学び たたかい ここを変える」の第3分科会「戦争と平和」で「差別・原爆・女」と題して報告デビュー。同分科会で米田佐代

震洋特攻隊、BC級戦犯、重慶爆撃、ニューギニア遺骨収集、朝鮮人軍属、学童疎開、戦争孤児、マレー半島ピースサイクル、フィリピン戦、元人民解放軍女性兵士、731部隊、空襲、ゼロ戦搭乗員、フィリピン残留二世、大森捕虜収容所、B29搭乗員、元海軍整備兵……

沢田が聞き取りを行ったのは、主に2000年代。その頃は、まだ体験者は生存していたが、本書刊行までの間に多くは亡くなってしまっている。沢田は、まさに消え去ろうとしていた体験や記憶を記録にとどめ、彼らの心からの叫びである戦争を忘れるな、戦争をしてはならない、という痛切な声を聞き取っている。

そしてまた、空襲などによる被害者に対して、日本政府が「国家無答責」論、「戦争被害受忍」論をかざして、補償から逃げようとしている姿を活写する。沢田が全国空襲被害者連絡協議会の事務局長を務めたこともあり、この問題についての記述は鋭い。実際、日本政府は、あたかも、戦争被害者が亡くなることを待っているような状況がある。ヒドイ国だとつくづくと思う。

本書、読み始めたらずまらなくなった。読み終えて、今年が「戦後80年」であっても、あの戦争を背負った「戦後」は続いていく、続けなければならないと思う。元海軍整備兵の瀧本邦慶の「戦争体験者として、いまの日本は危うく、私には軍靴の音が迫ってきているように思えて仕方がない」(330頁)という語りに、「新しい戦前」を迎えてはならないという思いを強くした。

(高文研 2025年、3000円)

例会のお知らせ

<10月総会・記念講演会>

日時：10月13日(月・スポーツの日)

総会 13:20~14:00

記念講演 14:30~17:00

講演者：平井和子氏(一橋大学ジェンダー
社会科学センター客員研究
員、本会委員)

演題：「ジェンダー史の魅力」ー静岡県
近代史研究会との出会いとその
後の占領期研究

場所：Web会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：本紙4ページを御覧ください。

<11月例会>

日時：11月15日(土) 14:00~17:00

場所：Web会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：11月会報に掲載します。

報告者：伴野文亮氏(本会会員)

内容：金原明善による林業実践とその
歴史的意味

<会報に原稿をお寄せください>

会報原稿を募集しています。短いものでも結構ですので、ぜひご寄稿ください。

会報原稿は、下記のアドレスにメールで送ってください。但し、掲載号については会報編集担当者にお任せください。どうぞよろしく願いいたします。

メールアドレス：cqh00053*nifty.ne.jp

(*は@に変えてください。)

会報編集担当 川上

静岡県近代史研究会会報 第565号(月刊)

2025年10月10日

非売品(非会員は印刷実費100円)

連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室

電話：054-264-5386(直通)

年会費：4,500円(メール会員は3,500円)

ゆうちょ銀行払込口座：00850-6-54573

ホームページ：

<https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com/>